

2020 自宅課題

2020.4.13

対象 屋間部 油彩・日本画志望コース

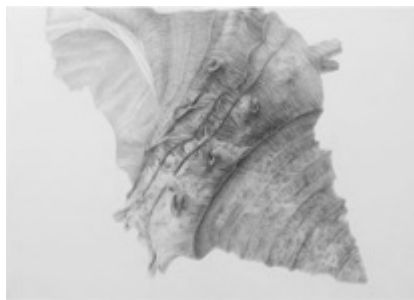
実施期間 4月14日（火）～5月6日（水）

提出期日 5月7日（木）

課題：B3サイズのケント紙を1枚用意し、『好きなもの』の細密描写を1点制作しなさい。

〈条件〉

1. 用紙の縦横は自由。
2. 写真ではなく実物を見て描くこと。



2020 自宅課題

2020.4.13

対象 屋間部 油彩・日本画志望コース

実施期間 4月14日（火）～5月6日（水）

提出期日 5月7日（木）

課題：B3サイズのケント紙を1枚用意し、『好きなもの』の写真模写を1点制作しなさい。

〈条件〉

1. 紙の縦横は自由



2020 自宅課題

2020.4.13

対象 昼間部 油彩・日本画志望コース

実施期間 4月14日（火）～5月6日（水）

提出期日 5月7日（木）

課題：ドローイングを100枚制作しなさい。

ドローイングは Drawing と書いて英語で、“線を引く”“図面”などを意味します。美術ノ世界では、紙などに鉛筆やペン、水彩などで描かれた表現形式を言います。ドローイングは、デッサンやスケッチと似ているけど、もう少し積極的な意味があります。実は、単なる下図ではなく、ペインティングと同等の価値を持ちます。それでいて技術的な制約が少ないのが特徴です。

まずは、自分が興味を持っているもの、好きな物を描いていく。実際にそれを見ながら描いてもいいし、想像で描いてもよい。自分の考えとか日記的なこととか思いとか気持ちとか、また何も描くことがなければ、ただ手を動かすのもあり。具体的なものを描かずに抽象でもかまわない。立体的でも平面的でも漫画的でもイラスト的でもかまわない。点を打ち続けたっていいし、目をつぶって描いてもいい。制作時間は1分でも10分でも1時間でも自由。ドローイングの目的は、技術的な物は後からいくらでも訓練することができるので、そうじゃないところで、生な自分の表現というか、自分に没頭できる方法なり対象なりを見つけることにある。

とにかく、紙をじっと見つめて考えるのではなく、手を動かしながら考える。黙々と、ぐいぐい描く。描く、そして線が引かれるたび、絵の具がのばされるたびに画面が自ずから立ち上がってくる。そこに乗かっていくこと。

画材

ドローイングに使用する紙は、紙ならどんな紙でもよいし、大きさも、B3画サイズ以内であれば自由。画材は油絵の具以外の描画材（鉛筆、木炭、水彩、炭、クレパス、パステ

ルなど)を使用すること。コラージュやコラージュの上からのドローイングも OK。

2020 自宅課題

2020.4.13

対象 昼間部 油彩・日本画志望コース

実施期間 4月14日(火)～5月6日(水)

提出期日 5月7日(木)

課題：鉛筆を使って B3 画用紙に 20 通りの塗り方とグレースケールを 2 本制作しなさい。

鉛筆の種類や寝かせたり立てたり、こすったり、その上に寝かせてトーンをつけるなど様々な塗り方、塗り重ね方を工夫して 20 個の異なる鉛筆の表情を制作しなさい。

〈条件〉

1. グレースケールはそれぞれ、2B と 2H で制作すること。
2. 完成図は下記のような配置になること。

